

# 学習教室

1年生 No.7

2024.6.13

## 1学期期末テストの範囲発表です！

中間テストの結果はどうでしたか？ ワークや課題は期限を守って提出できましたか？

学習時間は十分に確保できていますか？ 授業に積極的に参加していますか？

テスト計画の立て方、学習量や方法など、振り返ってみるとまだまだ改善できることがあったのではないのでしょうか。その反省点を十分に生かして、期末テストに臨みたいですね。期末テストは教科数が増えるので、これまで以上に計画を立て、見通しをもって学習に取り組む必要があります。家庭学習の日や部活動停止期間を上手に活用しながら進めていきましょう。

※ワークなどの提出物は各教科で指定された提出日を必ず守りましょう。

※自学ノートにワークの2回目や間違えた問題をできるようにするまでくり返し解きましょう。

テスト時間割 1日目:6月30日(月) 英 社 理 技  
2日目:7月 1日(火) 数 国 家

教科	テスト範囲 と 学習のポイント	提出物 と 提出日
国語	教科書 p46～53、58～75、242～245 国語の学習 p28～50 漢字スキル 8～13(p10～15) 単元プリント 4、5、6、7 ・新出漢字を中心に、正確に書けるようにしよう。(はねに注意) ・段落の役割や構成を確認し、内容を理解しよう。 ・問題文をよく読んで、答え方の確認をしよう。 ・文節や単語に分けられるようにしよう。 *ワークや単元プリントの問題を最低2回は解こう。 *国語ワークは丸付け、直しまで完璧にすること！	○国語の学習 ○単元プリント ○漢字スキル  テストまでの授業で点検します。先生の指示に従ってください。
社会	教科書 地理p22～57 地理ワーク p12～37 単元プリント 2・3 *教科書・ノートを確認し、何度もワークに取り組む。 *ワークは丸つけ・直しまで、繰り返し取り組む。 ・時差、都道府県は中間テストに引き続いて出題範囲となっています。復習をしておきましょう。また、県庁所在地名や日本の領域の特徴、各気候帯の人々の暮らし、雨温図の読み取りなどを確認しましょう。	○ワーク テスト前の授業で点検。先生の指示に従ってください。  提出できなかった人は、テストの日の朝、タブレット庫の上に提出。
数学	教科書 p41～72 正負の数～文字式(いろいろな数量)まで ベーシックマスター 16～33 数学の問題ノート p20～39 ①計算ができる!四則の混じったときの優先順位に注意して確実に答えを求められるようにする。その際、 <u>途中式をしっかりと書く。</u> ②数の範囲と四則の関係を理解している! ③正負の数を利用した応用問題(平均、気温、変化など)の考え方でしっかり説明できるようにする。 ④文字式のきまりを理解し、さまざまな数量(割合、円など)を表す。 *くり返し練習し、計算力を身につけましょう!	○ベーシックマスター ○数学の問題ノート →テストまでの授業で点検  ○ノート → <u>テスト後</u> に点検

	<p>＊応用問題はどのように答えにたどり着くことができるか、その道筋を理解することで類似した問題にも対応できる力になります。答えを写して分かったつもりにならず、分からないところは質問し、もう一度解き直しましょう。</p>	
理科	<p>教科書 p31～61、p126～143 ワーク本誌 p12～23、p54～59 ワークノート p4～9、p24～27 (step②まで) プリント ③④⑨</p> <p>・動物の分類の方法を説明できるようにしておく。 ・物質の分類を性質や密度をもとに調べることができるようにする。 ・ガスバーナーの使い方を説明できるようにしておく。</p> <p>＊ワークやプリント等の問題にはくり返し取り組み、知識を確実なものにしよう。</p>	<p>○ワーク本誌 ○ワークノート →テスト前最後の授業で提出</p>
英語	<p>教科書 p6～49 ワーク p2～52 (P22～)</p> <p>・疑問詞 (what, how, when, where など) のある疑問文を使えるようにしておこう。併せてその疑問文に回答できるようにしておこう。 ・be 動詞と一般動詞を使い分けることができるようにしておこう。 ・時刻を聞かれた時に数字で答えられるようにしておこう。</p> <p>＊教科書を何度も音読しておこう。＊リスニング、英作文あり</p>	<p>○ワーク →各授業で指示 ＊テスト後最終提出メ切</p> <p>○ノート →テスト後 授業で指示</p>
技術	<p>教科書 p28～37 p52 p62～64 ワークシートp1～16 ＊授業中のワークシートでしっかり学習してください。</p> <p>・使用目的、使用条件や丈夫な構造を説明できるようにする。 ・材料の特徴や有効な利用について説明できるようにする。 ・正投影図が描けるようにする。(試験には定規が必要です)</p>	<p>なし</p>
家庭	<p>教科書 p88～115、166～169 ハンドノート p39～51、72～75</p> <p>・食事の役割、栄養素のはたらき、6つの食品群、食事摂取基準、献立の作り方など、復習しておきましょう!</p>	<p>なし</p>

技・家は  
40分テストです

## 集中して授業を受けるために“姿勢”を意識

「授業で理解する」ためには“姿勢”が大切。姿勢を良くすると、こんなにいいことがあります。

### ①眠くなりにくい

姿勢を良くすると、呼吸がしやすくなり、脳によく酸素が行き届きます。さらに骨盤をしっかり立てて座ることで、立っている状態に近くなります。しかし、うつ伏せになったり、猫背になると身体が自然と休息モードに入り、眠くなったりボーとしてしまうのです。

### ②疲れにくい

悪い姿勢のまま座り続けると、肩や腰、その他の筋肉に負担がかかり、肩が凝ってしまったり、疲れやすくなってしまいます。姿勢を良くすることで、疲れにくい身体を作り、長時間の勉強やテストも苦にならなくなります。

### ③集中力がアップする

上の①、②によって、眠くなりにくく疲れにくい身体をつくることで集中力がアップします。そして、姿勢がいいと人の話も集中してよく聞くことができます。姿勢によって吸収力もアップするのです。

**正しい姿勢で学習に向かおう!**

